

自動走行システム・システム実用化WG（第32回）議事要旨

1. 日時 平成27年11月25日（水）10:00～12:00

2. 場所 中央合同庁舎8号館6階 623会議室

3. 出席者：

(PD代理) 葛巻 清吾 トヨタ自動車株式会社 CSTO 補佐
(主査) 稲垣 敏之 筑波大学 副学長
浅田 浩之 三菱自動車工業株式会社開発本部 車両先行研究部 部長 (代理：渡邊武司)
内村 孝彦 ITS-Japan 理事
鶴浦 清純 株式会社本田技術研究所 四輪 R&D センター 主任研究員
金光 寛幸 トヨタ自動車株式会社 情報電子システム開発部 主査
柴田 英司 富士重工業株式会社 車両研究実験第4部 主幹
高田 広章 名古屋大学 教授
前川 誠 電子情報技術産業協会 (日本電気(株)PBU エグゼクティブエキスパート)
村上 祐一 日本自動車部品工業会 (アイシン精機(株) 技術企画部 主席技師)
山田 憲一 ダイハツ工業株式会社 開発部 機能部品開発室 主担当員
山本 康典 マツダ株式会社 技術研究所 人間機械システム研究 研究長 (代理：小川博文)

市川 類 内閣官房 情報通信技術総合戦略室 参事官 (代理：大嶋宏明)
加藤 伸宏 警察庁 長官官房 参事官
中村 裕治 総務省 総合通信基盤局新世代移動通信システム推進室 室長 (代理：益子喬紀)
吉田 健一郎 経済産業省 製造産業局 電池・次世代技術 ITS 推進室 室長
河南 正幸 国土交通省 道路局 道路交通管理課 ITS 推進室 室長
久保田 秀暢 国土交通省 自動車局 技術政策課 国際業務室 室長 (代理：谷口正信)

(自動走行システム推進委員会)

有本 建男 政策研究大学院大学 教授
片原 尚俊 電子情報技術産業協会 (富士通(株) マーケティング改革 PJ 室ニアエキスパート)
加藤 晋 産業技術総合研究所 研究グループ長
川本 雅之 筑波大学 教授
清水 和夫 自動車ジャーナリスト (代理：吉岡卓朗)
花井 利通 ITS Japan 常務理事、グループ企画長
福島 正夫 日産自動車株式会社 環境・安全技術渉外部 技術顧問

(国際連携WG)

三角 正法 ITS 標準化委員会 走行制御分科会長

(事務局)

松本 英三 内閣府 科学技術・イノベーション担当審議官
森下 信 内閣府 科学技術・イノベーション担当企画官
吉川 元淳 内閣府 科学技術・イノベーション担当

4. 議題

1) 事務局連絡

- (1) システム実用化施策 進捗状況報告
- (2) HMI タスクフォースの設置及びメンバについて

2) H28 年度施策提案(統合化プロセス共有カード)

- (1) ダイナミックマップ (白土リーダ)

- (2) ヒューマンファクタ (鶴浦リーダー)
 - (3) 情報セキュリティ (谷口リーダー)
 - (4) 歩行者事故低減 (金光リーダー)
 - (5) 次世代都市交通 (川本リーダー)
- 3) H27 年度施策進捗報告(受託時報告)
- (1) 経 6 ⑤ (海外の V2X(Vehicle to X)に対応するセキュリティ) (JARI)
 - (2) 経 6 ⑥ (詳細効果見積りのためのシミュレーション技術) (JARI)
 - (3) 経 6 ⑦ (衛星測位活用に向けた基盤評価に関する調査) (アイサンテクノロジー)
- 4) その他
- (1) サイエンスアゴラ「自動走行技術が創る未来社会」開催報告 (内村構成員)
 - (2) 総合科学技術・イノベーション会議 開催報告(速報版)

5. 配付資料

資料 3 2-1-1	施策一覧 (151124 現在)	【非公開資料】
資料 3 2-1-2	「HMI タスクフォース」の設置及びメンバについて	【非公開資料】
資料 3 2-2-0	現状の SIP 施策一覧	【非公開資料】
資料 3 2-2-1-1	ダイナミックマップ：2016 年度以降実施内容案	【非公開資料】
資料 3 2-2-1-2	ダイナミックマップ：2016 年度以降集中施策案	【非公開資料】
資料 3 2-2-2-1	ヒューマンファクタ：2016 年度施策案	【非公開資料】
資料 3 2-2-2-2	ヒューマンファクタ：課題概要と対応案	【非公開資料】
資料 3 2-2-3	情報セキュリティ：2016 年度研究方針	【非公開資料】
資料 3 2-2-4	歩行者事故低減：2016 年度計画案	【非公開資料】
資料 3 2-2-5	次世代都市交通：2016 年度以降 実施計画案	【非公開資料】
資料 3 2-3-1	H27 年度受託者報告：経 6 ⑤ (JARI)	【非公開資料】
資料 3 2-3-2	H27 年度受託者報告：経 6 ⑥ (JARI)	【非公開資料】
資料 3 2-3-3	H27 年度受託者報告：経 6 ⑦ (アイサンテクノロジー)	【非公開資料】
資料 3 2-4-1	サイエンスアゴラ「自動走行技術が創る未来社会」報告	
資料 3 2-4-2	151124 総科会本会議資料(自動走行システム)	

【参考資料】

参考資料 1 システム実用化WG (第 3 1 回) 議事要旨

6. 議事要旨

1) 事務局連絡

- (1) システム実用化施策 進捗状況報告
 - 資料32-1-1に基づき、各省庁施策の進捗状況について、報告があった。
 - (2) HMI タスクフォースの設置及びメンバについて
 - 資料31-1-2に基づき、HMIタスクフォースのメンバ変更について、報告があった。
- 2) H28 年度施策提案(統合化プロセス共有カード)
- 2017年度からの実証実験を見据えて、共有カードのリーダーを中心に実証実験に向けた来年度の施策について提案を頂く旨説明があった。
 - 引き続き、共有カードの重要 5 課題のリーダーにより提案内容の説明が行われた。

(1) ダイナミックマップ

- 資料32-2-1-1、32-2-1-2に基づき、提案内容の説明及び議論が行われた。

(2) ヒューマンファクタ

- 資料 32-2-2-1、32-2-2-2に基づき、提案内容の説明が行われ、引き続き議論が行われた。

(3) 情報セキュリティ

- 資料32-2-3に基づき、提案内容の説明が行われ、引き続き議論が行われた。

(4) 歩行者事故低減システム

- 資料 32-2-4に基づき、提案内容の説明が行われ、議論が行われた。

(5) 次世代都市交通

- 資料 32-2-5に基づき、提案内容の説明が行われ、議論が行われた。

3) H27 年度施策進捗報告(受託時報告)

- H27 年度経産省施策について紹介があり、引き続き受託者の発表があった。

(1) 経 6 ⑤ (海外の V2X(Vehicle to X)に対応するセキュリティ) (JARI)

- 資料 32-3-1 に基づき、JARI 伊藤氏より V2X 等車外情報の活用にかかるセキュリティ技術の研究・開発プロジェクトについて報告があり、続けて議論が行われた。

(2) 経 6 ⑥ (詳細効果見積もりのためのシミュレーション技術) (JARI)

- 資料32-3-2に基づき、交通事故低減詳細効果見積もりのためのシミュレーション技術の開発及び実証について報告があり、続けて議論が行われた。

(3) 経 6 ⑦ (衛星測位活用に向けた基礎評価に関する調査) (衛星測位活用検討コンソーシアム)

- 資料32-3-3に基づき、衛星測位活用に向けた基礎評価に関する調査について報告があり、続けて議論が行われた。

4) その他

(1) サイエンスアゴラ 2015 「自動走行技術が創る未来社会」 開催報告

- 資料32-4-1に基づき、開催報告があった。

(2) 総合科学技術・イノベーション会議 開催報告

- 資料32-4-2に基づき、総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)にて、PD代理の発表について紹介された。資料内容について、説明が行われ、OEM から提供を受けた自動走行映像により作成されたビデオについても、説明が行われた。

7. その他

- 次回は 12 月 9 日(水)に開催の予定。

以上